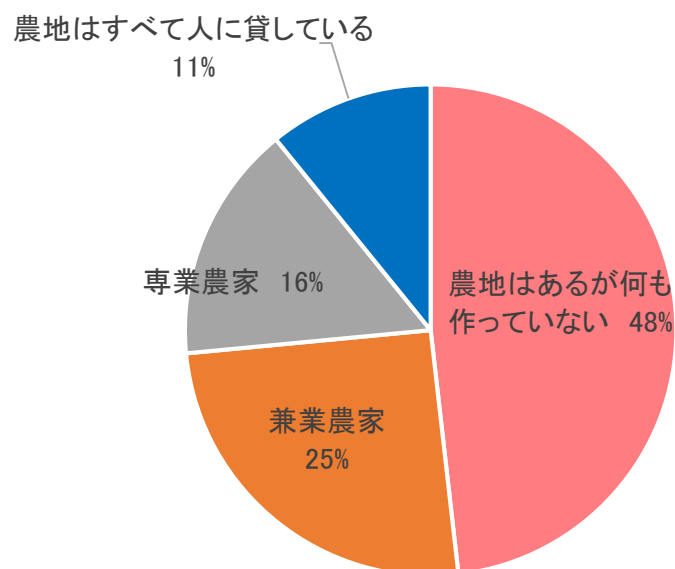


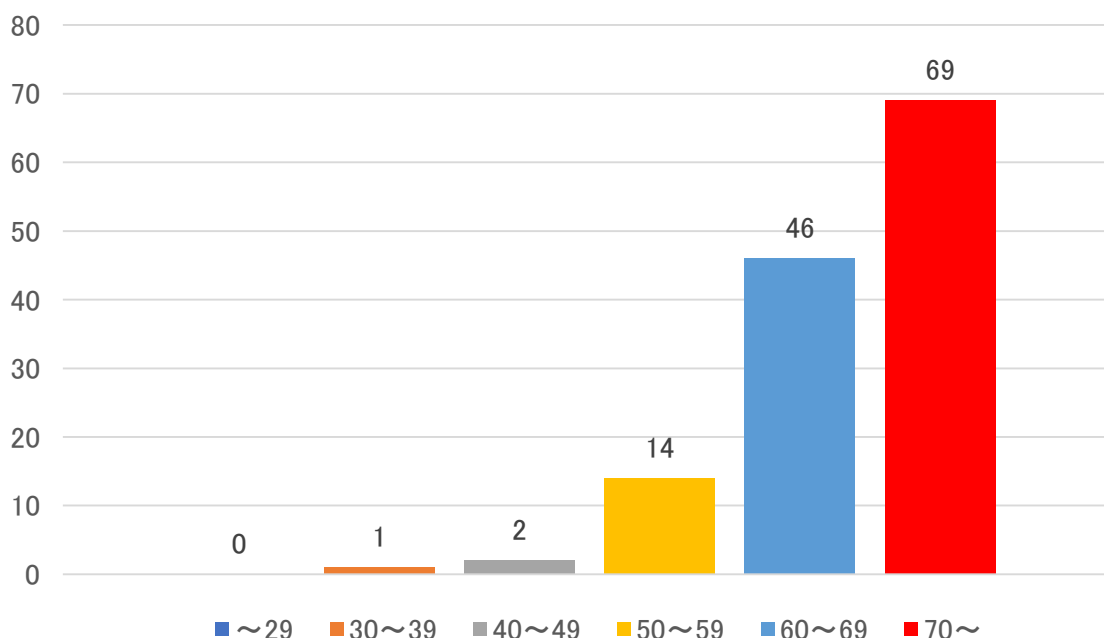
地域農業の将来に関するアンケート結果＜中山地区＞

対象者総数 142 回答者数 83 回答率 58.5%

(1) あなたの農業形態を教えてください。



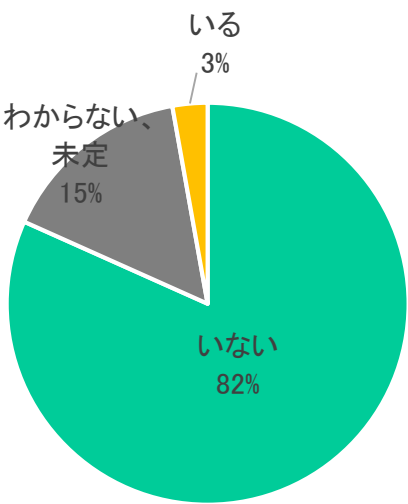
経営者年齢分布図(単位:人)



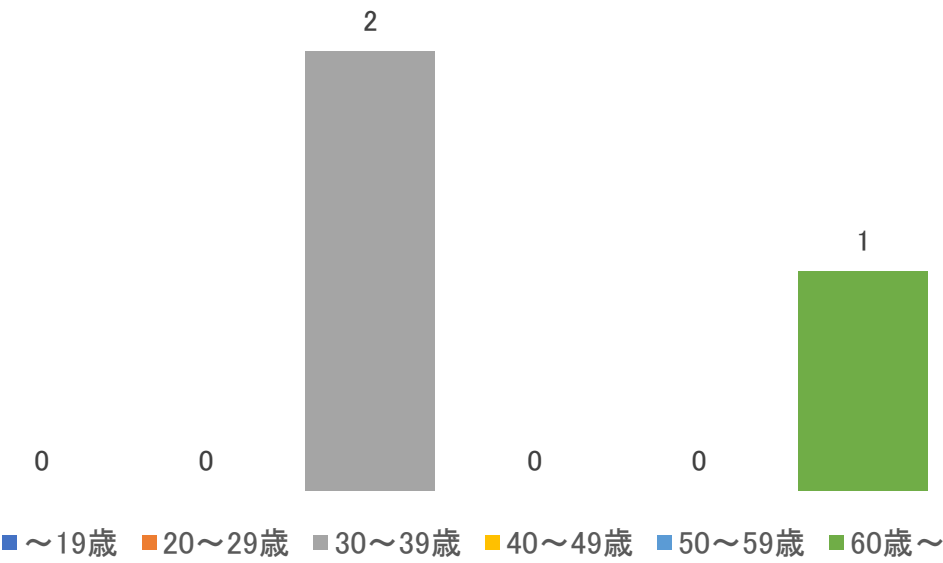
※経営者年齢は農家台帳システムおよびアンケート回答から集計した。

地域農家の約半数は何も耕作していないと回答。若年層の経営者が少なく、農家の高齢化が特に進んでいる。

(2) あなたの農業の引き継ぎ手はいますか。

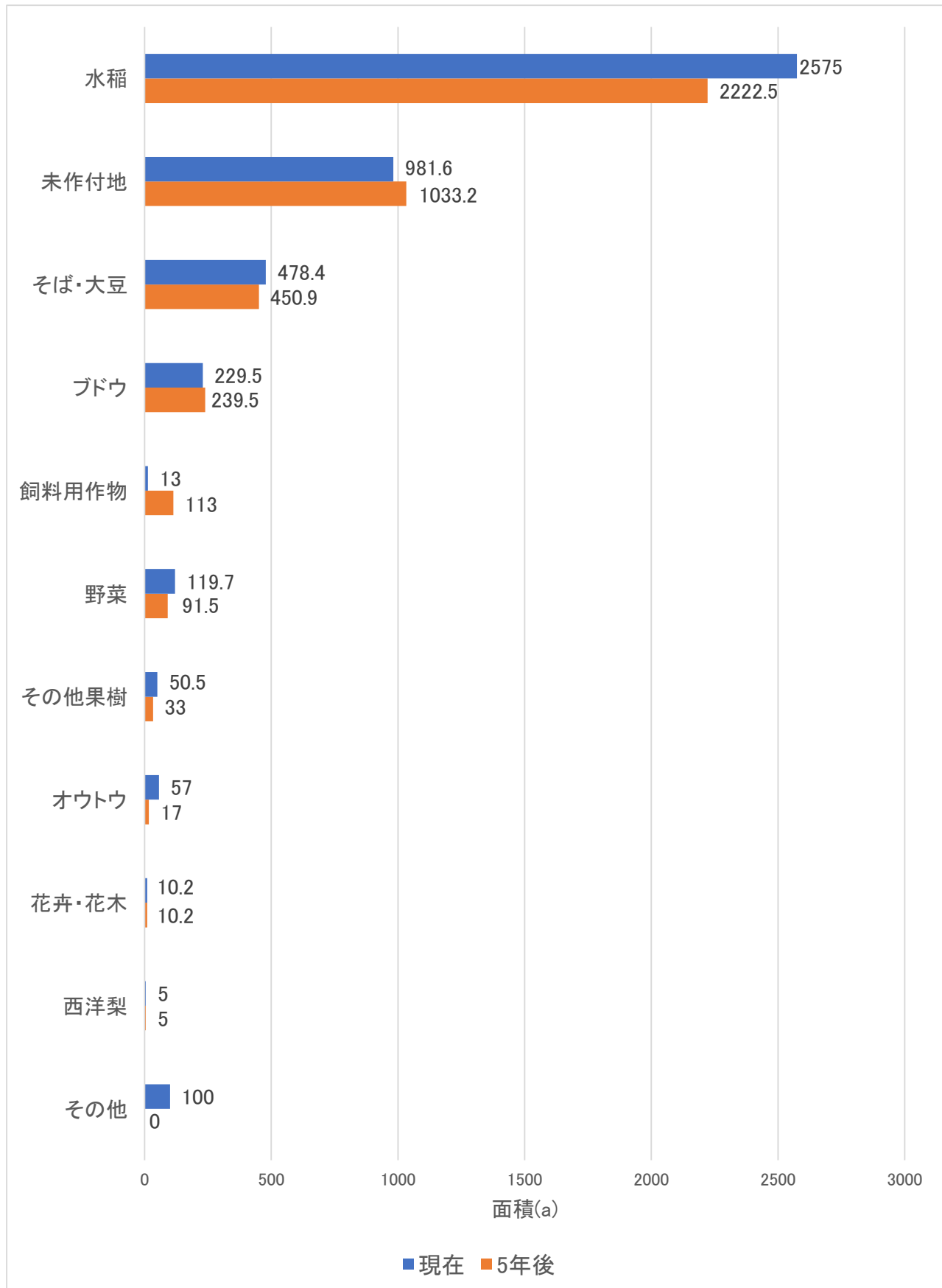


(2) 後継者年齢分布図(単位:人)



アンケート回答者の8割超は後継者がいないと回答しており、将来の担い手が特に不足している。

(3) あなたの現在と将来の農業構成を教えてください。(グラフ数値は地区全体の合計面積(a))

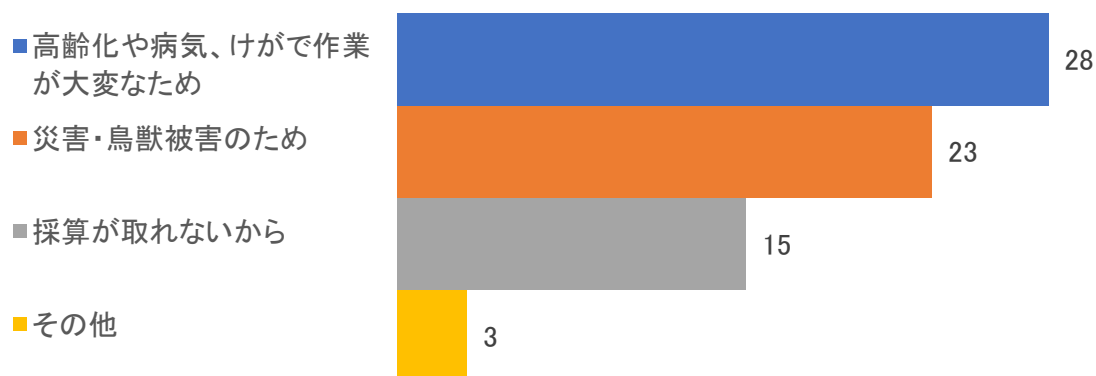


現状との差が最も大きかったのが水稲で、現状から 13.7%減る見込み。飼料用作物やブドウで規模拡大の意向があるものの、経営面積は全体で 8.7%程度減る見込み。

(4) (規模拡大したい方へ) 規模拡大の方法はどのようにお考えですか。(複数回答可。単位:人)

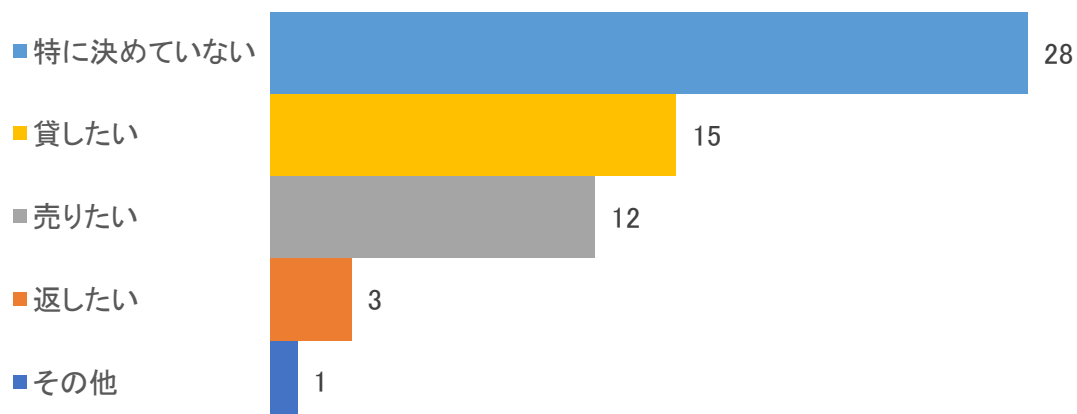


(5) ①(栽培をやめたい、縮小したい方へ) 理由は何ですか。(複数回答可。単位:人)



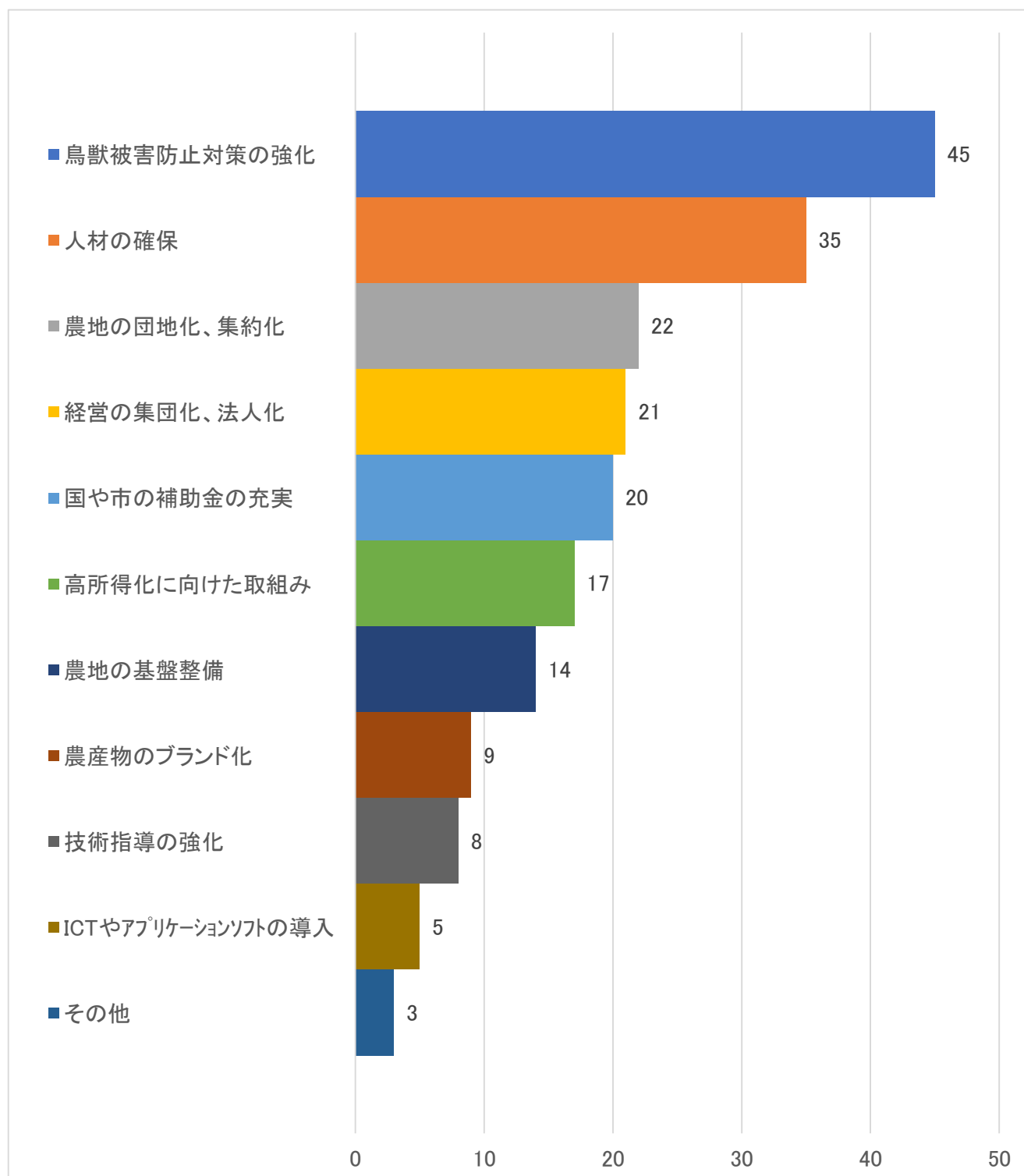
※その他記載欄…「引き継ぎ手がない」、「会社勤めのため」

(5) ②(栽培をやめたい、縮小したい方へ) 栽培をやめた、あるいは規模を縮小したあと、農地はどうしたいですか。(複数回答可。単位:人)



栽培をやめたい理由として、高齢化や傷病などに加え、後継者がいないことを挙げる人が多かった。栽培をやめた後の農地については、「特に決めていない」が回答の47%を占め、「貸したい」「売りたい」を上回る。

(6) 今後の地域農業のために、何が必要だと思いますか。(複数回答可。単位:人)



※その他記載欄…「中山間地直払の規定を緩和するべき。山間地の農地が荒れ廃れ国土の保全ができなくなる」

今後の地域農業に必要なものとして、「人材の確保」「鳥獣被害防止対策の強化」を挙げている人が特に多い。また、「農地の団地化、集約化」「経営の集団化、法人化」など、大規模経営に向けた取組みを重視している傾向がある。